学校教育目標

総合的な学校関係者評価

※文書表現で記入してください。

学ぶことが楽しい学校 ～感動と喜び、笑顔と感謝があふれ見える学校～	先生方が細やかな配慮のもと真剣に取り組んでおられる様子が頭がさがる。 概ね妥当な評価と思う。これからは、これまでにないスピードで児童や学校を取り巻く社会情勢や環境が変わっていくと思うが、そういった変化に対応するための施策について検討していく必要が出てくると思う。情報のアンテナを広げ、少しずつ検討や準備をしておくことも大切と感じる。 全体的に達成状況はよい。児童の内面を理解し、教職員一同が協力して、学校運営をしていただきたい。
--------------------------------------	--

自己評価 達成状況 (A: 達成している B: 概ね達成している C: あまり達成していない D: 達成していない)

学校運営	評価の観点		達成状況	学校の取組状況・今後改善すべきこと	自己評価の妥当性 (評価項目ごとの学校関係者評価・意見等)
	評価の観点	達成状況			
学校運営	地域とともにある学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	A		学校だよりは、学校の活動について知るよい機会となっている。今後、社会情勢や学校、児童を取り巻く環境も変わっていく。変化に応じて内容や周知する方法も見直していく必要がある。
		学校運営協議会活動の充実	A	学校運営協議会で、話題に上がったことや話し合われた内容について、全職員で共通理解できるようにする。	校内・校外の活動の様子をしっかりと聞かせて頂いており、よく分かる。(毎回スライドを拝見して)全職員で共通理解することは、大変だと思うが、その積み重ねが学校づくりにつながると思う。十分に実施されており妥当と思う。
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	A	学級経営の工夫をさらに充実していけるように努力をする。	児童が落ち着いた学校生活を送れている。具体的な計画を立て、学級づくりをこれまで以上に工夫してほしい。十分に実施されており妥当と思う。
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫	A	生活アンケートでは個別に丁寧に聞き取りをして、教員が対応している。今後も全員で協力をして取り組んでいく。	児童の内面を見取るアンケートになっているとよいと思う。個々の実情に応じて丁寧に対応している。職員間で協力して、取り組んでいたきたい。
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応	A	多様な児童の実態に応じて、たくさんの先生方に協力していただいている。不登校問題は、学級経営や生徒指導との関連があると考え。そのため、次の三つのことを大切に。一つ目は、教育活動全体を通して不登校の問題に対応する。二つ目は、学級経営や生徒指導について実践を振り返り見直す。三つ目は、不登校の未然防止のための研修や取組をする。これらのことを大切に学校全体で協力して取り組む。	SNSについて、児童はどの程度まで情報を得たり、発信したりしている環境にどのくらい心配である。学校を中心に、さまざまな資源を活用して対応されている。今後とも、個人情報に配慮しつつ、可能な情報の発信は随時実施して頂けたらと思う。またこれらから問題が多様化、複雑化していくと思われる。しっかりとした体制づくりも必要と感じる。児童の内面を見取り、学校全体で取り組んでいただきたい。
	危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	A	今後とも、状況に応じた危機管理体制やマニュアルを点検して、見直しを行い、学校全体で共有できるように、努めていく。	十分に実施されており妥当と思う。
		地域課題に応じた防災、防犯教育の実施	A		常に危機感を持ち、備えることは必要。訓練はされている。十分に実施されており妥当と思う。
	特別支援教育	インクルーシブ教育の推進、校内の指導体制、個に応じた指導	A	児童の支援を必要とする場面が多いため、全教職員で臨機応変に対応できるようにしていく。また、子どもたち同士が理解し合い、一緒にできることを増やしていく。このような取組が、児童相互の成長につながると思う。	低学年から互いを大切にしている指導ができていっているように感じている。十分に実施されており、妥当と思う。我々大人も機会を得て学んでいくことも大切と思う。「共に育つ」ことは、とても良いことで大切なことだと思う。
	安全安心に過ごすことができる学校づくり	園中庭対策、インフルエンザ等の対策	A	運動会練習等で、冷房やミスト扇風機を稼働させ、練習場所や時間等を工夫し、熱中症予防に努めることができた。来年度も細心の注意を払い、取り組んでいく。	きめ細やかな対応、指導がなされているように思う。十分に実施されており妥当と思う。今後も登下校時の配慮も同様に、場合によっては登下校児童への入下校も検討されるべきかと思う。様々な感染症対策や熱中症等々、臨機応変に対応されているように感じる。
	あさごドリームアップ事業	特色ある学校づくり	A	山口ならではの取り組みがあり、地域の方との交流も生まれているので、今後も続けていきたい。地域の教材を探し出して、新しい取組を企画し、実践したいと考えている。	地域の皆さんの協力の下、楽しく学習している。十分に実施されており妥当と思う。地域と学校が連携し、充実した取組ができるよう期待している。引き続き行っていただけるようお願いしたい。
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりのUD化推進	A	子どもたちが安心して学び、楽しく主体的に取り組むことができるように、これからは一歩ずつ前進できるように努力をする。また、これまでの本校の研修の成果と課題をもとに、本年度の研究授業や校内研修を行っている。そのため、今まで以上にUDの視点を取り入れた授業づくりを意識できた。今後も継続して取り組んでいく。	児童一人一人に合った指導がされている。自ら挑戦し、人と関わりながら新しいものを生み出していく能力は、将来、社会に出ていく子どもたちにとって、とても大切な能力と思う。主体的に、そして楽しく活動に取り組むことが大切と考える。
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	A	学校全体での共通した取組を増やしていきたいと考えている。また、子どもたちの学びの連続性を大切に授業実践に取り組む。	評価は妥当と思う。
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	A	子どもたちとともに、1時間1時間を大切に、教師も授業づくりを含め、楽しみながら授業ができるようにしたい。	評価は妥当と思う。
	情報教育	情報活用能力の育成に向けた指導改善	A	校内全体でICT機器やアプリケーションの研修を行い、教職員のスキルアップを図り、児童の情報活用能力を高める取り組みを考えていく。	児童の端末の取り扱い、活用能力はずばらしい。評価は妥当と思う。
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	A	これからも人権尊重の精神を高められるように指導をしていく。	いろいろな立場に立った人々の人権を守るための取組がしっかりとできている。自分を大切に、他人を大切にすることを学んでいくことは、いじめをなくす上でも大切なことと思う。すでに現状でも、いろいろな取り組みをされており、評価は妥当と思う。UD化の推進と一緒にできるとよいと思う。
	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク等を旨めた体験活動の充実	A	連合で実施する学校と協力して、子どもたちの自然体験活動を充実させていく。また、学校全体の教育活動を通して、家庭や地域と連携して、体験活動を充実させていく。	他校との交流や親元を離れての体験活動は児童にとって非常に有意義な活動だと思う。評価は妥当と思う。また地域と学校をつなぐコーディネーターの配置も検討してほしいと思う。体験活動を通して知ったり、学んだりする中で、児童の自信にもつながっていると思う。
	食育の推進	栄養教諭と連携した食育の推進	A	食育指導では、講師の先生にお世話になり、充実した学習活動ができた。今後も講師の先生と連携をして食育を推進していく。	生きていく上で非常に大事な教育と考える。評価は妥当と思う。児童だけでなく、保護者も知識向上が必要と思われる。
	キャリア教育	進路選択能力の育成・社会的自立に必要な態度や能力の育成	B	学校行事等の教育活動を通して、育んでいるように取り組んでいく。	なかなか難しい課題だと思う。評価は妥当と思う。
その他	・地域の方を招いたふるさと教育について	A	地域の方にお世話になり、取り組むことができています。各学年の各教科等とつながるような取り組みを考え、発展をさせていきたいと考えています。	羽洲老人クラブの方々にお世話になったの岩津ねぎづくり等、よい取り組みとなっている。評価は妥当と思う。	